色麻町
いそらじんじゃ
磯良神社（おかっぱさま）

延暦(えんりゃく)年間(8 世紀後半)坂上田村麻呂(さかのうえのたむらまろ)の蝦夷(えぞ)征代に従軍した「東右衛門(とうえもん)」がその活躍により、「川童」の姓とこの地(色麻町一の関)を与えられました。その後、磯良神社(いそらじんじゃ)は「おかっぱさま」とも呼ばれ、河童のご神体をまつる神社として全国的に有名になりました。その伝説とは・・・・・

『昔、ある殿様の館に夜(よ)な夜(よ)な河童があらわれ、かわや(トイレ)のお姫さまに悪さをした。そこで女装した若侍が、トイレの中で河童の腕を切り落とした。河童は腕を返してもらうかわりに、霊薬(れいやく)「河童膏(かっぱこう)」を贈った。もちろん河童の腕は、もとどおりになった。若侍もこの河童膏のおかげで、華々(はなばな)しく活躍したという。この膏薬(こうやく)は切り離された首や手足がくっつくというご利益(りやく)があるが、心なびかぬ思いの人に貼(は)れば霊験(れいげん)あらたか(縁結び)。ただし、みだりに乱用(らんよう)すれば、河童の罰(ばち)が当たるという。』